

愛知万博

愛知県ウィーク・パート2
(9月13日～19日)

平成17年9月8日

愛知県

目次

愛知県ウィークとは	2
愛知県ウィーク・パート2の催事概要	3
■愛知と世界を音楽で結ぶ ～音楽による世界旅行	
●愛・地球の環音楽祭	3
●地球讃歌ライブステージ	4
●異説・カルメン情報	5
■新文化の創造 ～ソフト資産等の継承・発展～	
●愛知アートアワード2005 ～世界を拓く新たな文化の創造	6
●帰ってきた江戸のハイテク&世界からくりコンテスト	7
●愛・地球・パフォーマンスメッセ	8
●フレンドシップ・フィルム・フェスティバル	9
■異文化との出会い・コミュニケーション ～世界を知り、愛知を知る～	
●E X P O 2 0 0 5 交流収穫祭	10
■愛知独特の伝統芸能「手筒花火」を世界に披露 ～愛知の心意気で世界を魅了～	
●あいち炎の舞 ～愛知の「手筒花火」	11
■愛知が誇る舞踊芸術を世界に発信 ～愛知の心を踊りで表現～	
●あいち芸能L I V Eーおどりマンダラ 秋ー	12
●ダンスオペラ「UZMEーウズメ」	13
●ダンスと音楽の競演「森の中のパレード2005」	14
■アジアとの交流 ～ポップスによる交流と次回万博開催地へのリレー	
●アジアP O P フェスティバル	15
愛知県ウィーク・パート2 スケジュール	16
観覧方法について	17

愛知県ウィークとは

「愛知県ウィーク」は、愛知万博の公式催事の一つである「都道府県の日」に愛知県が主催者として参加するもの。特に愛知県をはじめ、愛知万博に出展参加する地方自治体の日には「スペシャルデー」として位置づけられる。

愛知県ウィークの基本的考え方

催事基本方針

① 情報発信

●世界や国内の各地から多数の人々が集う愛知万博を舞台に、愛知の文化的魅力を会場全体を使って表現し、開催地「愛知」を世界に向けて強く発信するとともに、万博のコンセプトである「地球大交流」を力強く推進します。

② 話題性

●圧倒的な数のパワーが醸成するスケール感や地元愛知ならではの演出で、愛知万博の催事の目玉となるようなニュース性、話題性の高い催事を創り上げ、愛知万博の集客にも大きく寄与していきます。

③ 県民参加

●県内市町村のパワーによる県民が一堂に大勢参加する大型催事を組み入れ、県民の自由な発想やコラボレーションを取り入れるなどして、県民の参加意欲を高める協働の場とするとともに、700万愛知県民の意気込みを示し、万博成功の先導的な役割を担う事業とします。

④ 継承性

●愛知県ウィークを市町村の参加のプロセスを通じた人づくり、地域づくり、暮らしづくりの実験場と位置づけ、万博で得た叡智を地域の新たな財産として継承し、未来に役立てるとともに、全国自治体の地域づくりへの貢献を目指します。

催事コンセプト

- ◎過去、現在、未来にわたる「愛知の文化」を魅せる。
- ◎愛知ならではの趣向で、世界の人々の期待に応える。



愛知の魅力を世界へ！ 愛知の力を未来へ！

催事テーマ

千客万来！響け！愛知の*いき*のころ・粋

愛知文化の「*いき*のころ」を「粋」な演出によって国内外の人々の心に「響」かせて、ホスト県「愛知」の「心意気」を表現します。

愛知県ウィークの概要

<パート1>

開催日程

2005年4月23日(土)～4月29日(金・祝)

催事編成の考え方

・「山車・からくり」「まつり」「地芝居」など、現在の愛知県が有している文化的な魅力を国内外に向けて発信する催事で編成

<パート2>

2005年9月13日(火)～9月19日(月・祝)

人・モノ・情報の地球規模での交流が一層活発化するグローバル化の時代における愛知県の国際交流の一つの形として、これからの「地球時代における愛知」を象徴・先導するような国際色豊かな催事で編成

展開場所

博覧会会場全体(EXPOドーム、EXPOホール、愛・地球広場など)

愛知と世界を音楽で結ぶ ～音楽による世界旅行～

◎ 海外のアーティストや国際的に活躍されている演奏家等を招聘し、聴き慣れたクラシック曲やシャンソンなど各国の音楽で世界を巡るコンサートを実施します。

●愛・地球の環音楽祭

EXPOドーム 9月13日(火) 14:00～17:00

愛知環状鉄道で結ばれた瀬戸市・岡崎市・豊田市・春日井市の4都市で活躍するアマチュアオーケストラ・合唱団(約750名)が、千住真理子(ヴァイオリニスト)や五木ひろし(歌手)ら一流のプロとコラボレーションする県民参加型の大規模なコンサート。



愛環音楽連盟

【第1部 愛のあいさつ】

- 出演: 千住真理子(ヴァイオリン)、愛環音楽連盟加盟オーケストラ・合唱団
- 指揮: 靱山和明
- 曲目: オフエンバック: 「天国と地獄」序曲から“ギャロップ”(オーケストラ)
 - エルガー : 「愛のあいさつ」(オーケストラ、千住真理子)
 - モンティ : 「チャルダッシュ」(オーケストラ、千住真理子)
 - シベリウス : 交響詩「フィンランディア」(オーケストラ、合唱)
 - エルガー : 行進曲「威風堂々」第1番(オーケストラ、合唱)



千住真理子

【第2部 故郷への手紙】

- 出演: 五木ひろし(リズム・セクション8名)、愛環オーケストラ・合唱団、
- 指揮: ボブ佐久間
- 曲目: ふりむけば日本海・長良川艶歌・山河・Love song for you
＜五木のステージに続いて愛環オーケストラ・合唱団による唱歌メドレー＞
- 「混声合唱のための唱歌メドレー ふるさとの四季」源田俊一郎 作編曲(オーケストラ版)
- 指揮: 吉川朗(愛環)



五木ひろし

【第3部 歌声は世界をつなぐ】

- 指揮: アレキサンダー・ドゥルチャー (Alexander Drçar)
- ソリスト:
 - ・ソプラノ: アンドレア・ラング (Andrea Lang)
 - ・アルト : ミカエラ・メーリンク (Michaela Mehring)
 - ・テノール: ステファン・ハイバッハ (Stefan Heibach)
 - ・バリトン: アンドレアス・ヤンコヴィッチ (Andreas Jankowitsch)
- 曲目: ベートーヴェン 交響曲第九番 第4楽章
- フィナーレ「歓喜の歌」(なかにし礼による日本語訳詞) 会場全員合唱



アレキサンダー・ドゥルチャー

※司会はCBCアナウンサー・千住真理子

※全体構成・台本は、新井鷗子(音楽構成作家)。

主催: 愛知県、岡崎市、豊田市、瀬戸市、春日井市、愛環音楽連盟、CBC
協力: 愛知環状鉄道株式会社

●地球讃歌ライブステージ「ブラボー！愛知万博」

EXPOホール 9月16日(金) 17:30～20:00

愛・地球博のテーマである「自然の叡智」にリンクした地球讃歌であるグローバルイメージソング「ブラボー！ムッシュ・ルモンド」を中心に、万博の事業コンセプト「地球大交流」を、音楽の視点や時間、国など様々な切り口で展開。

フランスの歌手ジャクリーヌ・ダノがこのステージのために来日し、素晴らしい歌唱力を披露するとともに、愛・地球博パートナーシップ事業として、毎月25日に「音楽万博」を開催してきた日仏シャンソン協会日本支局の協力を得て、万博サポーターアーティストの中から選抜された歌手・演奏者らが集結し、万博支援コンサートの集大成を万博会場で実施。今回は、ソプラノ歌手・下垣真希も特別出演。

【Ⅰ部】「音楽万博 ～世界の音楽旅行～」

出演：下垣真希、レ・ミューズ、浜崎久美子、Noriko y エスペランサ、タンゴ・デ・ラ・エスペランサ、トリオ・ロス・ペペス、YUKO&ロス・ペペス、山口紀子、橋本奈央子、宮入公子

【Ⅱ部】「ジャクリーヌ・ダノ ～フランス文化のエスプリ＝珠玉のシャンソン～」

出演：ジャクリーヌ・ダノ



Jacqueline DANNO — ジャクリーヌ・ダノ

フランスを中心に世界で活躍する女優・歌手。
ミュージカル「キャバレー」では2年半にわたり“フォーレン・シュナイダー”役を好演し、エディット・ピアフを現代に継承するシャンソン歌手・女優。
舞台の外ではフランス語圏をまとめる文化団体「アリアンス・フランコフォン」の副会長としても活躍。歴代パリ市長をして「シャンソン都市＝名古屋」と言わしめる程、“文化人”として、その交流に力を入れるフレンチ・エスプリの伝道師。今回が7度目の来日公演となる。



下垣 真希

愛知県立芸術大学卒業後、ケルン国立音楽大学卒。在学中にはドイツ国家声楽教授資格を取得。5年半にわたりドイツ国際ラジオ局でディスクジョッキーとして活躍し、ドイツ・ハノーバー万博閉幕式ではアジア代表として独唱し好評を得る。また昨年は「愛・地球博」PRのためのトークコンサートをドイツで開催。
教育・文化・環境・町づくりなどに関する講演、コンサートのプロデュース、著名人とのフォーラムや対談、新聞・雑誌への執筆など、その活動は多岐にわたる。



レ・ミューズ



浜崎久美子



宮入公子



橋本奈央子

●異説・カルメン情話

EXPOドーム 9月17日(土) 17:00~19:30

セントラル愛知交響楽団の演奏と文楽のコラボレーション。ビゼーのオペラ「カルメン」の舞台を江戸期の日本に移し、オーケストラの奥に人形浄瑠璃の舞台を作り、カルメンやドン・ホセら主な出演者の4人は、文楽の人形に扮して人形ぶりで踊る。

歌は、ビゼーの作曲によるフランス語で歌われるが、衣装は和服、合間のせりふは義太夫・三味線によって日本語で語られるといった、ヨーロッパのオペラと日本の文楽の世界が重ね合わされる、和と洋が融合した斬新な内容。セントラル愛知交響楽団の首席客演指揮者を務める松尾葉子氏がプロデュース。

出演者等

- 指揮・プロデュース 松尾葉子(セントラル愛知交響楽団首席客演指揮者)
- 演出・振付 五條園美
- 出演 カルメン 河野めぐみ
ミカエラ 池田京子
ドン・ホセ 神田豊壽
エスカミーリョ 稲垣俊也
- 人形遣い 藤間勘人、花柳久宗ほか
- 合唱 女声合唱団マドンナ「かきつばた」
男声合唱団ムッシュ「かきつばた」
- 義太夫 浄瑠璃／竹本駒之助 三味線／鶴澤三寿々
- 管弦楽 セントラル愛知交響楽団



松尾葉子



五條園美

- ◎ 当催事の企画・実施の過程で培われたノウハウや人脈といったソフト資産などの文化的成果を万博後に継承・発展させることも視野に入れて、愛知万博を契機とした新文化の創造を目指します。

●愛知アートアワード2005 ～世界を拓く新たな文化の創造～

市民パビリオン(瀬戸会場) 9月14日(水) 11:00～16:15

9月15日(木) 1部 11:00～12:00

2部 13:30～16:15

9月16日(金) 13:00～14:00

日本広場(モニュメント展示)9月 6日(火)～9月25日(日)終日(※9月16日17:30～モニュメント完成記念式典)

瀬戸会場の市民パビリオンでは、国内・海外から優れたアート作品を公募し、審査員により選ばれた優秀作品を映像展示。審査員・ゲストとして、美術、建築等の分野で世界トップクラスの人材を招聘し、彼らによるコラボレーション・アートの公開制作も実施。

長久手会場の日本広場では、当催事のオーガナイザーを務める環境デザイナーのサイ・ヒロコ氏が制作した「心の環境」のためのモニュメントを展示。市民パビリオンで公開制作されたコラボレーション・アートを飾り付け、作品としての完成を遂げる。

【審査員・ゲスト】

- サイ・ヒロコ(21世紀を拓く環境デザイナー)
- アラン・ジュフロア(歴史的評論家、詩人、小説家)
- セルジュ・アントワヌ(世界初の環境省を設立。国連特別顧問)
- ジョセフ・アントニー・アゼビージョ(世界最高の都市工学者)
- 田・建新(中国の革命的文学研究者、科学芸術創造協会中国支部代表、日本文学博士)



サイ・ヒロコ

■9月14日(水)

「コラボレーションアート」公開制作

- ・テーマ:戦争の対極にあるもの、平和のコミュニケーション、「心の環境」元年、創造性、水の惑星、テクノロジーとアートの融合
- ・内 容:
 - ①世界から寄稿された詩の朗読(アラン・ジュフロア、田・建新)
 - ②アクリルボード、ビニールキャンバスへの絵付け(サイ・ヒロコ)
 - ③メインモニター、サブモニターにより「世界平和」を訴える映像の放送
(協力:国境なき医師団日本支部ほか)

■9月15日(木)

- 1部 作品公募・審査発表(映像による入選作品の紹介と審査)
- 2部 フォーラム ～21世紀の環境・都市と芸術の役割～
 - ①理想都市サリーヌ・ロワイヤルの紹介(セルジュ・アントワヌ)
 - ②トークセッション「世界を拓く新たな文化の創造」(サイ氏と4人の審査員・ゲスト)

■9月16日(金)

- 1部 世界の環境プロジェクト
(文化＝アートと環境を通じた21世紀の都市づくりの方向性の提案:ジョセフ・アゼビージョ)
 - 2部 モニュメント完成記念式典(日本広場/17:30～)
- ※日本広場に設置されているモニュメントに、市民パビリオンからコラボレーションアート作品を搬入し、モニュメントに組み込むことにより完成。

●帰ってきた江戸のハイテク&世界からくりコンテスト

EXPOホール 9月18日(日)～9月19日(月・祝) 18日:14:00～18:30 19日:①12:00～13:30 ②16:00～17:30

全世界から募集した「からくり作品」のうち30作品程度を、デモンストレーションも交えながら万博会場で最終審査、表彰式を実施。また、世界屈指の伝統的なからくり(田中久重作「文字書き人形」)の本邦初・公開実演も実施。

■9月18日(日)

- ・「世界からくりコンテスト」最終公開審査・表彰式
- ・田中久重作「文字書き人形」本邦初・公開実演

■9月19日(月・祝)

- ・「世界からくりコンテスト」入賞作品の公開実演
- ・田中久重作「文字書き人形」本邦初・公開実演

【審査員(順不同)】

審査委員長	末松安晴	国立情報学研究所顧問(前所長)
審査副委員長	鈴木一義	国立科学博物館理工学部主任研究官
審査員	浅田靖之	東芝科学館館長
審査員	石黒鏘二	名古屋造形芸術大学学長
審査員	宇野小四郎	現代人形劇センター顧問
審査員	末松良一	豊田工業高等専門学校校長
審査員	玉屋庄兵衛	からくり人形師
審査員	西田明夫	有馬玩具博物館館長
審査員	東野 進	科学技術史資料研究所代表
審査員	福田敏男	名古屋大学教授 工学博士
審査員	マリ・クリスティーン	日本国際博覧会広報プロデューサー

●田中久重作「文字書き人形」について

～150年の眠りから覚めた“幻のからくり人形”が 愛知万博でよみがえります～

“からくり儀右衛門”こと田中久重のからくり「文字書き人形」は、江戸時代末期、久重が大阪、京都で活躍した時期(1840～1850)の頃に製作されたとされ、その後幕末の頃に米国の蒐集家の手に渡ったと推察されています。しかし、米国に渡った経緯や経路、その後の行方は謎のまま、専門家の間では“幻のからくり”とされていました。

ところが、この程、大阪のからくり研究家で、科学技術史資料研究所代表の東野進氏がその所在を確認、昨年11月、空白の150年(推定)を経て故郷、日本へ里帰りを果たしました。

この文字書き人形は、幅・奥行きおよそ50cm、高さ30cm程の台座に乗った人形が、右手に持った筆で、正面の板に貼られた紙に、ゼンマイを動力に自動的に文字を書くからくり人形です。台座の中に仕込まれたカムの種類や仕掛けなどから、複数の文字を書くのではないかと考えられてきました。

「万年時計」「弓曳童子」など、田中久重の最高傑作とされる作品に優るとも劣らぬ最高水準のからくりで、“江戸時代の科学技術の評価を変える”と鑑定する機関もあるほどです。

しかし現時点では、この文字書き人形がどのような文字を、どんな風に描くか依然として謎のままです。

文字書き人形は、半年余りをかけ、東野氏によって本来の姿に修復され、万博会場で“本邦初の公開実演”されます。



主催:愛知県、東海テレビ 特別協賛:TOSHIBA

●愛・地球・パフォーマンスメッセ

愛・地球広場 9月13日(火)～9月14日(水) ①12:30～13:00 ②14:00～14:30

日本広場 9月13日(火)～9月19日(月・祝) 10:00～19:00

愛・地球広場において、地球温暖化をテーマにしたスペクタクルショーを展開するほか、日本広場では、世界のパフォーマー達が集結し、連日、入れ替わり立ち替わりで、パフォーマンス・ステージを繰り広げる。観客からの投げ銭をチャリティに役立てるチャリティ・バスキングも実施。これにより集まったお金は、ユネスコ及び日本ユネスコ協会連盟を通じて、世界遺産・白神山地での植林活動などに寄付する。

●愛・地球広場

ムービカル「The Earth！」

「地球の自然現象は、宇宙で最も凄いエンターテイメントだ！」というメッセージを受けた宇宙人達が昆虫に似た宇宙船に乗って、地球にやって来ます。素晴らしい環境の地球に感動する宇宙人。しかし、環境の変化により、地球に危機が訪れています。宇宙人たちは、自ら花や生き物に変化して地球を救おうとします。果たして地球は、彼らによって救われるのでしょうか・・・。

海や空、様々な自然現象などの映像をバックに、ステージ上ではパフォーマンスが繰り広げられます。

エコモニ(石川梨華、道重さゆみ)、矢口真理、ダチョウ倶楽部も、地球を救う宇宙人たちの応援に駆けつけます(13日のみ)。



●日本広場

出演者(パフォーマー)

ジャーミー・イートン(ジャグリング&パントマイム／(アメリカ)
ドクター・ニュートン(ジャグリング&アクロバット)／日本)
ブルーノ・ディスカベス(マリオネット&バイオリン演奏／ブラジル)
デイブ・レイブ(コメディジャグリング／アメリカ)
テリー・プレス(バルーンパフォーマンス／カナダ)
デビット・ラムゼイ(マジック&ジャグリングバラエティショー／アメリカ)
ミス・サリバン(ジャグリングショー／日本)
ミスター・アパッチ(ジャグリングショー／日本)
コロラド・ジョーンズ(ジャグリングショー／アメリカ)
ベルティウム・アンドレイ(アクロバットショー／ウクライナ共和国)
デビット・クレイパッチ(ジャグリングショー／アメリカ)
グレハム・バーマン(ジャグリングショーイギリス)



コロラド・ジョーンズ



デイブ・レイブ



テリー・プレス



ブルーノ・ディスカベス

●フレンドシップ・フィルム・フェスティバル

EXPOホール 9月13日(火)～9月15日(木)
13日～14日:15:00～19:00 15日:10:00～17:45

愛・地球博の「一市町村一国フレンドシップ事業」を実施する市町村と参加国との交流の様子を記録した映画21作品の上映会・表彰式。関係自治体の参加のほか、著名人を審査員、ゲストとして招いて実施。

- 9月13日(火) 師勝町(大韓民国) 監督:キム・ウンスク
豊橋市(ベネズエラ・ボリバル共和国) 監督:イレーネ・エレーラ
春日井市(ヨルダン・ハシミテ王国) 監督:アリーブ・ズエイター
津島市(カメルーン共和国) 監督:ジョージ・ブレイム
新城市(スイス連邦) 監督:ロジェー・ティボール・ワルツヒ
幸田町(カンボジア王国) 監督:タデット・テウ
- 9月14日(水) 瀬戸市(チュニジア共和国) 監督:アニス・ラスエッド
豊橋市(リトアニア共和国) 監督:アスタ・エイニキテ
豊川市(ペルー共和国) 監督:ジュデイス・ヴェルズ
長久手町(ベルギー王国) 監督:フランソワーズ・レヴィ
大口町(ナイジェリア連邦共和国) 監督:マムッド・アリ・バログン
弥富町(オランダ王国) 監督:アラルト・マヒール・デティヘル
- 9月15日(木) 豊橋市(ホンジュラス共和国) 監督:マルセラ・ブスティージョ
刈谷市(インド) 監督:アクラム・シェーク
安城市(デンマーク王国) 監督:トーマス・スメッデゴー
蒲郡市(ポーランド共和国) 監督:マルチン・コシャルカ
犬山市(ドイツ連邦共和国) 監督:コニー・ヴァルター
稲沢市(ギリシャ共和国) 監督:エヴィ・カラバツ
東海市(トルコ共和国) 監督:オズジャン・アルベル
岩倉市(キューバ共和国) 監督:ヤミラ・スアレス・ヌニェス
田原市(ラオス人民民主共和国) 監督:カムコン・コンボザ
16:15～表彰式

審査員によるトークセッション

審査員(出演者):奥田瑛二(俳優・映画監督)

竹下景子(女優、愛知万博日本館総館長)

ジョン・ウィリアムズ(映画監督)

北川れい子(映画評論家)

森正夫(愛知芸術文化センター総長)



瀬戸市撮影風景



新城市撮影風景



刈谷市撮影風景

主催:愛知県

共催:愛知万博一市町村一国フレンドシップ記録映画製作
実行委員会

協力:独立行政法人国際交流基金

協賛:ローランド・イーディー株式会社、
株式会社エヌ・ティ・ティネオメイト名古屋
中部シンガポール協会
株式会社トーエネック

◎ 世界の祭り・芸能の数々が集結し、愛知の祭りとコラボレーションするなど、愛知万博の事業コンセプト「地球大交流」をダイナミックに表現する催事を展開し、愛知についての認識を深める契機ともなる異文化との出会い、コミュニケーションを図ります。

●EXPO2005交流収穫祭

愛・地球広場 9月16日(金)～9月17日(土)
16日:17:00～19:15 17日:16:45～19:15

日本や世界各国の祭り・芸能が競演・交流するイベント。愛知県出身の著名な芸能人が世界の祭りとコラボレーションするスペシャルプログラムも実施。司会:矢野きよ実



■9月16日(金) ジャパン 伝統から未来へ～にっぽんの音と舞

日本の伝統芸能と、伝統に根ざしながらも新しい表現活動をしているアーティストたちの音と舞と光のステージを展開します。さらに、万博誘致のプレゼンテーションで、世界に日本の伝統の音色を聞かせた能楽笛方藤田流11世家元藤田六郎兵衛が、世界を魅了した音色を聞かせます。

- ・沖縄「エイサー」のダイナミックステージ
- ・日本の伝統に根ざしながら、新しい表現をしているグループ「Rin'」が登場。
Rin': 東京芸大卒の女性和楽器演奏家グループ。箏、十七弦、琵琶、尺八という日本の伝統楽器にユニークなポップス要素を融合。世界が注目するユニット。
- ・万博誘致を決めた500年の伝統の能管が万博フィナーレの夜に響き渡ります。
能楽笛方藤田流11世家元藤田六郎兵衛が、能管と小鼓というシンプルな構成で、伝統の音色を聞かせます。万博誘致に貢献した藤田六郎兵衛が、万博185日を振り返ります。
- ・「志多ら太鼓」の心の響きから、ど真ん中祭りの精鋭チームも参加し、総踊りでフィナーレを迎えます。



藤田六郎兵衛

■9月17日(土) 日本から世界へ～地球大交流の祭典

愛・地球博で行われていた地球大交流の輪を集大成。参加各国のスタッフたちが大集合して万博の思い出を語り、そこに世界の音と踊りが花を添え、忘れがたい万博の感動を一気に盛り上げるステージを展開します。さらにスペシャルゲストとして、愛知出身・「マツケンサンバ」で一躍国民的アーティストとなった「松平健」が黄金の着流しと黄金の足袋、着物のダンサーたちを引き連れて、愛・地球広場に華やかに真打ち登場します。

- ・まずは、世界のスタッフが大集合。
会期中に人気のあったパビリオンのスタッフたちが思い出トークや飛び入りパフォーマンスでステージに参加します。そして、トークの合間には、万博を盛り上げてきた世界の音楽とダンスが登場。お客さんも、どんどん参加して楽しい笑顔が愛・地球広場を一杯にします。
- ・サルサ、サムル・ノリなどのダイナミックステージ
- ・大とりは、「松平健」が踊り子たちを引き連れて「オーレ！」
マツケンサンバが、世界の踊りとコラボレート！ オリジナリティ溢れるスペクタクルショーを会場全体で展開します。会場・観客が一体となってボルテージが頂点に達した時、「EXPO2005交流収穫祭」はクライマックスを迎えます。



松平健

◎ 花火の筒を腕に抱え、火の粉を体に浴びながら打ち揚げる独特のスタイルを持ち、愛知県の三河地方に伝承されてきた「手筒花火」。その勇壮華麗な姿を大型映像装置を使って披露します。また、オープニングの13日には、愛・地球広場において手筒花火の実演も行います。

●あいち炎の舞 ～愛知の「手筒花火」～

愛・地球広場 9月13日(火) 19:45～20:45 手筒花火実演

愛・地球広場 9月14日(水)～9月17日(土) 19:30～20:45

長久手町万博サテライト会場「ながくて広場」における手筒花火放場のライブ映像上映

東三河地域を中心に受け継がれてきた県内の「手筒花火」の実演(13日のみ)や、愛・地球広場の大型映像装置「エキスポビジョン」を使った手筒花火の紹介及び特設会場(長久手町万博サテライト会場「ながくて広場」)からのライブ映像の上映などを展開します。

◎参加市町(8市町):豊橋市、豊川市、豊田市、蒲郡市、新城市、田原市、幸田町、小坂井町

■9月13日(火) 愛・地球広場における手筒花火の実演(3斤、16本)

特設会場からのライブ映像上映(豊橋市、田原市)

■9月14日(水) 特設会場からのライブ映像上映(新城市、小坂井町)

■9月15日(木) 特設会場からのライブ映像上映(蒲郡市、豊田市、幸田町)

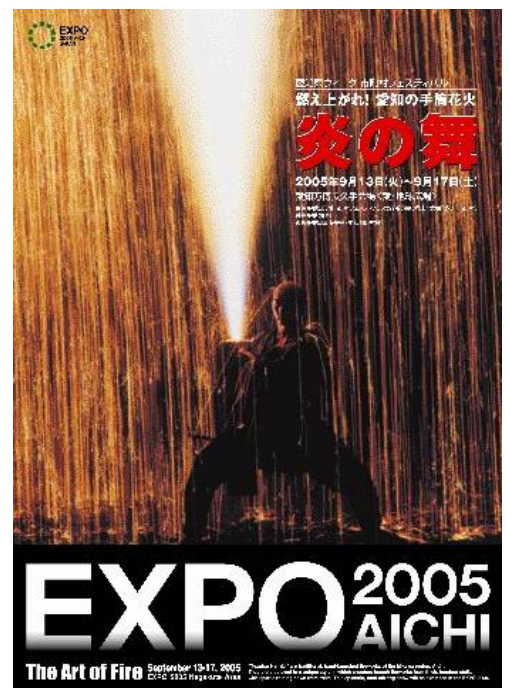
■9月16日(金) 特設会場からのライブ映像上映(豊橋市)

■9月17日(土) 特設会場からのライブ映像上映(豊川市)

主催:愛知県、愛知万博市町村フェスティバル実行委員会

(炎の舞プロジェクト実行委員会)

後援:愛知県市長会、町村会



◎ バレエやダンスといった舞踊芸術において全国でも屈指の水準を誇る愛知県内の舞踊家が集結・競演するなど、ハイレベルかつ愛知万博ならではのクリエイティブな舞台を披露します。

●あいち芸能LIVEーおどりマンダラ 秋ー

EXPOホール 9月17日(土) ①14:00～15:15 ②16:00～17:15 ③18:00～19:15

現代・創造を軸としたコンテンポラリーな舞踊作品の公演。バレエ、ジャズダンス、モダンダンスといった現代舞踊の競演により、生きる歓びを未来に引き継ぎ、躍動感あふれる舞台を披露。自然と人間への愛と叡智を舞踊のアラカルトで表現する。

【ステージ構成】

●Stage1 14:00～15:15

三代真史ジャズ舞踊団
棚瀬友理バレエ団
野々村明子 DANCE SPACE
オクダモダンダンスクラスター
南條宣子舞踊団
水野幸代現代舞踊団

MATSURI
～平安の薫りによせて～雅びの道へ
Mandala Dance
華の乱舞
Light and Shadow within Soul
もしも……My Little Moon

●Stage2 16:00～17:15

ヒデ・ダンス・ラボ
Dance Work こかち
関山三喜夫舞踊団
岡田純奈バレエ団
南條冴和&モダンダンスグループ
オクダモダンダンスクラスター

Birth
水に揺らぐ
生・愛・讃歌
ふるさと
カモメ
華の乱舞

●Stage3 18:00～19:15

野々村明子 DANCE SPACE
ダンス工房 ユリア イステラ
関山三喜夫舞踊団
水野幸代現代舞踊団
玉田弘子モダンダンスグループ
三代真史ジャズ舞踊団

Mandala Dance
あらゆる毒をよく清め給う
生・愛・讃歌
もしも……My Little Moon
20才、AMBITIOUS !
MATSURI



三代真史ジャズ舞踊団



オクダモダンダンスクラスター



関山三喜夫舞踊団



南條冴和&モダンダンスグループ



南條宣子舞踊団

●ダンスオペラ「UZMEーウズメ」

EXPOドーム 9月14日(水) 18:30~19:30

日本神話で日本最古のパフォーマーといわれるウズメ(天鈿女命=あめのうずめのみこと)を、ダンス・音楽・言葉・美術が融合した新しい舞台芸術<ダンスオペラ>で表現。古事記の群読をバックに、美しい身体をもったパフォーマーたちが新しい「21世紀の神話」を描く。愛知万博の開催に合わせて特別に創作する祝祭公演。

CAST

ファルフ・ルジマトフ

白河直子

新上裕也

★

麻実れい



ファルフ・ルジマトフ

麻実れい

新上裕也

石川雅実 板垣優美子 加藤愛美

米沢唯 渡邊智美 tomomi

ペルセパッサ・オイリュトミー団

MUSICIANS

パーカッション: クリストファー・ハーディー

バイオリン: 金原千恵子・栄田嘉彦 ヴィオラ: 古川原裕仁

チェロ: 堀沢真巳 ギター: 加藤道明 木管: 小田島亨

SONIC: 石井AQ ヴォイス: 小川美潮 ピアノ: 橋本一子



白河直子

ファルフ・ルジマトフ

STAFF

振付: 笠井 叡

演出: 手塚 眞

音楽監督: 橋本一子



手塚眞

<アーティスト・プロフィール>

◎ファルフ・ルジマトフ

世界で最も注目されるダンサー。ウズベキスタン生まれ。ワガノワ・バレエ学校卒業と同時にキエロフ・バレエに入団する。1990年にはアメリカに渡り、ABTでも活躍。現在、様々なバレエ団へのゲスト出演やガラ公演の中心として世界中で活躍している。高度なテクニックと表現力の豊かさに加えて、独自の情熱を感じさせるダンサー。そこには一種のカリスマ性がある。『海賊』『バヤデルカ』『シェヘラザード』ではエキゾチックな魅力を感じさせ、『白鳥の湖』『ジゼル』では独自のドラマティックな表現を見せる。また『タンゴ』(タグノフ振付)、『バクチ』(ベシヤール振付)などモダン作品でも個性を大いに発揮する。2004年秋には笠井叡振付の『レクイエム』を世界初演、新境地を拓いた。

●ダンスと音楽の競演「森の中のパレード2005」

愛・地球広場 9月19日(月・祝) 17:30～20:00

◎プロのミュージシャン&ダンサーと愛知の小・中・高校生の共演

愛知万博のために特別編成した＜仙波清彦 & HANIWA EXPO BAND＞と、若者に絶大な人気を誇るダンスカンパニーの＜コンドルズ＞が競演。ジャンルを超えた一流の音楽家たちと、今熱い注目を浴びている＜コンドルズ＞に加え、地元の子供たち＜コンドルズ・ユース＞や愛知工業大学名電高等学校吹奏楽部が出演して、愛知万博のフィナーレを飾る「愛知県ウィーク・パート2」の最後を、豪華なイベントで盛り上げます。

音楽監督は邦楽囃子方の家に生まれながらも洋・邦楽のジャンルを問わず多彩な活動を行っている仙波清彦。

演出・振付にはNHK教育TV「からだであそぼ」の振付を担当している近藤良平を迎え、壮大な森を舞台に、次々と幻想的な世界を繰り広げます。



◎昨年のプレ・イベントから万博公演にあわせてバージョンアップ！

昨年、東京と愛知で上演し、大好評を得た＜愛知万博プレ・イベント「森の中のパレード」＞の最終バージョンとして、さらに充実した構成でお届けします。

昨年はテーマ曲の作曲のみで出演しなかった、ジャズピアニストの山下洋輔も、特別ゲストとして出演。

第1部は「森の中のコンサート」。名電高校吹奏楽部によるオープニングのあとは、山下洋輔を迎えてのテーマ曲の共演、そして＜仙波清彦&HANIWA EXPO BAND＞が登場し、躍動感あふれる演奏をお届けします。



休憩を挟んで、第2部は「森の中のパレード」。音楽とダンスの共演です。＜HANIWA EXPO BAND＞の演奏に、＜コンドルズ＞、そして＜コンドルズ・ユース＞の子どもたちが、楽しくパワフルなダンスを繰り広げます。最後は、総勢140人が出演し、壮大なフィナーレです。

■公演詳細

PART-1: 森の中のコンサート (17:30 - 18:30)

出演:HANIWA EXPO BAND、山下洋輔
愛工大名電高校吹奏楽部

PART-2: 森の中のパレード (18:40 - 20:00)

出演:コンドルズ、HANIWA EXPO BAND
コンドルズ・ユース
愛工大名電高校吹奏楽部



仙波清彦

近藤良平

山下洋輔

◎ 次回(2010年)万博開催地である中国・上海とのリレーション・プログラムなど、近年、日本(本県)を含む地域内の相互の関係を深めつつあるアジアとの交流を図る催事を展開します。

● **アジアPOPフェスティバル**

EXPOドーム 9月18日(日)・9月19日(月・祝) 17:00～20:30

総合プロデューサーに、中国と特に関係の深い谷村新司氏(2004年3月から上海音楽学院の教授に就任)を迎え、日本・アジアをリードするアーティストとこれからのアジアPOPシーンを担う若者たちによるライブステージを展開。音楽でアジアを結びつけるとともに、愛知から次期万博開催地・上海へのエールを送ります。

■ 出演

Emme Wong(中国・香港)、毛寧(中国)、POSITION(韓国)、SUGAR(韓国)、ROSE(タイ)、夏川りみ、千住明、黒沢薫・酒井雄二・北山陽一<ゴスペラーズ>、林明日香、ZAN、この他に上海音楽学院などからも出演の予定。



谷村新司



Emme Wong



ROSE



夏川りみ



林明日香



ZAN



POSITION



SUGAR

愛知県ウィーク・パート2 スケジュール

※天候、その他都合により、内容・時間が変更・中止になることがあります。

		9月13日	9月14日	9月15日	9月16日	9月17日	9月18日	9月19日
		<火>	<水>	<木>	<金>	<土>	<日>	<月・祝>
EXPOドーム (大催事場)	午前							
	午後	愛・地球の環音楽祭 14:00～17:00						
	夜間		ダンスオペラ「UZME」 18:30～19:30			異説・カルメン情話 17:00～19:30	アジアPOPフェスティバル 17:00～20:30	
EXPOホール (小催事場)	午前							
	午後	フレンドシップ・フィルム・フェスティバル (15:00～19:00) (15:00～19:00) (10:00～17:45)				あいち芸能LIVE ーおどりマンダラ 秋ー ①14:00～15:15 ②16:00～17:15 ③18:00～19:15	帰ってきた江戸のハイテク&世界からくりコンテスト (14:00～18:30) ①12:00～13:30 ②16:00～17:30	
	夜間				地球讃歌ライブステージ 「ブラボー！愛知万博」 17:30～20:00			
愛・地球広場	午前							
	午後	愛・地球・パフォーマンスメッセ ①12:30～13:00②14:00～14:30			EXPO2005交流収穫祭 17:00～19:15 16:45～19:15			
	夜間	19:45～20:45	19:30～20:45	19:30～20:45	あいち炎の舞 19:30～20:45	19:30～20:45		ダンスと音楽の競演 「森の中のパレード2005」 17:30～20:00
日本広場	午前	(9月6日～9月25日以降)愛知アートアワード2005 (モニュメント展示) (終日)(※16日は、17:30～モニュメント完成記念式典)						
	午後	愛・地球・パフォーマンスメッセ 10:00～19:00						
	夜間							
市民パビリオン (瀬戸会場)	午前		愛知アートアワード2005 (審査発表・コラボレーション)					
	午後		11:00～16:15	1部 11:00～12:00 2部 13:30～16:15	1部 13:00～14:00 15:30～日本広場へ移動開始			
	夜間							

※「午前」、「午後」、「夜間」の区分は概ねの目安です。

観覧方法について

- EXPOドームで9月18日・19日に開催する「アジアPOPフェスティバル」は、ハガキによる完全事前予約となります(応募期間終了)。当日、若干数のキャンセル待ち整理券を配布いたします。
- それ以外のEXPOドーム・EXPOホールで行う催事は、開催当日の1ヵ月前から愛・地球博公式サイト(<http://www.Expo2005.or.jp>)及び携帯電話サイト(<http://mobile.expo2005.or.jp>)から事前予約をお申し込みいただけます。
また、当日、イベント実施会場前で当日整理券を配布いたします(先着順)。
- 愛・地球広場、日本広場、市民パビリオンで行う催事は、全席自由席です(ただし、9月17日の「EXPO2005交流収穫祭」は、一部エリアにおける観覧に整理券が必要です)。
- 整理券の配布時間等は、愛・地球博公式サイトにてご案内いたします。